



総合学術調査報告書発刊に寄せて

美馬市長 牧 田 久

阿波学会紀要第54号「美馬市木屋平総合学術調査報告」発刊にあたりひとことご挨拶を申し上げます。この度、会長小林勝美様をはじめとする阿波学会の皆様、関係者の皆様のご協力により美馬市木屋平地区の学術調査による報告がまとまり、発刊されるとのこと心からお慶びとお礼を申し上げます。

阿波学会会員の皆様、調査に入ってくださいました先生方、調査員の皆様、大変ご苦勞様でした。結団式以降、18班の調査団により、広範囲にかつ、専門的に美馬市木屋平のもつ独特の風土を調査いただきました。12月に行われました調査報告会に参加させていただきましたが、学術的にもそして実態把握の面からも非常に内容が濃く、木屋平の地域振興に役立つヒントを多くいただきました。

調査団の皆様方には、調査期間中、山間を精力的に調査され、多くの市民からの聞き取り調査をするなど、大変な苦勞をおかけしました。この場をお借りしまして、協力いただきました関係各位、市民の皆様のご理解・ご協力に対しまして敬意を表しますとともに感謝申し上げます。

ここ木屋平地域は、調査いただきましたように、剣山、中尾山等多くの山々、そして四国一の清流穴吹川の源流、支流を持つ等、豊かな自然環境の中で古くからそれを利用し、市民が生活をして参りました。

現在、木屋平地域は人口約1,000人、高齢化率では50%を超え、高齢者のみの世帯、高齢者単身で生活をしている世帯が増えております。このような状況下においても、木屋平地域に生活をする市民が安全安心で快適な生活を送り続けることができるよう美馬市として積極的に支援をして参らなければならないと感じております。今回の調査報告を美馬市の基本方針を定めた「美馬市総合計画」の実施施策に反映させ、木屋平地域のまちづくりに活用して参りたいと考えております。木屋平に住む市民と行政が手を取り合っ

て、美しい自然とそこに残る歴史と文化を大切にしまちづくりを行っていきたいと考えております。最後に、総合学術調査団の皆様のご苦勞に深く感謝申し上げますと共に、阿波学会の今後益々のご発展と、会員各位の多方面にわたりますご活躍とご健勝をお祈りし、発刊に際しましてのお祝いとお礼の言葉といたします。